

# まちの整備と発展へ 59億円の

## 主な事業と予算額 (新は新規事業)

### 投資事業

- 町道整備事業  
(中学校線、佐野線、桐畑線、中学校倉町線、三貫線).....16,131万円
- 公共土木施設災害復旧事業.....9,500万円
- 新**平泉中学校体育館・柔剣道場耐震補強事業.....5,699万円
- 柳之御所遺跡公有化事業.....4,778万円
- 特別史跡無量光院跡保存修理事業.....3,220万円
- 新**長島保育所環境整備事業.....3,053万円
- 平泉遺跡群発掘調査事業.....2,020万円
- 新**毛越寺庭園整備活用事業.....1,010万円
- 新**放射線量低減化工事費.....700万円

### 主要事業

- 緊急雇用創出事業.....12,063万円
- 中山間地域等直接支払制度事業.....4,417万円
- がん等の検診事業.....1,510万円
- 新**中学校完全給食実施事業.....1,284万円
- 新**放射線量低減化対策事業.....1,253万円
- 町単独医療費助成事業.....1,109万円
- 新**地域防災計画修正事業.....600万円
- 世界遺産活用推進事業.....350万円
- 新**協働のまちづくり事業.....328万円
- 新**世界遺産登録記念誌作成事業.....315万円

### 一部事務組合等負担金

- 一関地区広域行政組合負担金(環境衛生部門).....11,229万円
- " (介護保険部門).....11,578万円
- 消防事務委託負担金.....12,295万円
- 岩手県後期高齢者医療広域連合分担金.....8,583万円
- 市町村総合事務組合負担金.....577万円

### 町債残高見込み

町債については、社会基盤や公共施設の整備などの財源として活用してきましたが、24年度末残高見込みは全会計合わせて99億5111万円で、町民1人当たりすると約119万円となります。

町債の活用にあたっては、将来の住民に過大な負担を残さないよう、財政運営の健全化に努めてまいります。

### 各会計別総括表 (単位:万円)

会計別	平成24年度	平成23年度	比較
一般会計	405,500	431,700	△ 26,200
国民健康保険特別会計	85,800	81,000	4,800
後期高齢者医療特別会計	6,720	6,680	40
健康福祉交流館特別会計	5,830	6,010	△ 180
町営駐車場特別会計	8,100	8,380	△ 280
下水道事業特別会計	36,040	34,170	1,870
農業集落排水事業特別会計	6,020	5,470	550
簡易水道事業特別会計	13,090	12,830	260
水道事業会計	3条予算 14,570	14,480	90
	4条予算 8,210	8,780	△ 570
合計	589,880	609,500	△ 19,620

### 地方債現在高(見込み) (単位:万円)

会計別	平成24年度	平成23年度	比較
一般会計	530,664	542,388	△11,724
下水道事業特別会計	238,217	242,938	△ 4,721
農業集落排水事業特別会計	66,561	68,541	△ 1,980
簡易水道事業特別会計	56,859	59,473	△ 2,614
水道事業会計	102,810	105,409	△ 2,599
合計	995,111	1,018,749	△23,638

一般会計の町民1人当たりの予算額は**486,270円**(508,898円)となります。

民生費	教育費	公債費	土木費	総務費
110,667円(112,789円)	70,869円(119,432円)	67,621円(71,113円)	53,976円(45,918円)	52,809円(54,913円)
衛生費	農林水産業費	消防費	労働費	その他
37,308円(35,177円)	22,969円(20,952円)	21,470円(21,213円)	14,572円(4,301円)	34,009円(23,090円)

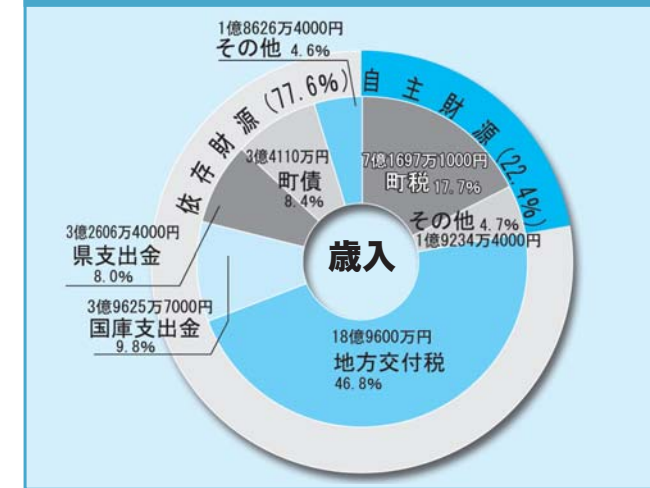
※平成24年3月1日現在の人口8,339人、( )内は前年度の数値、平成23年3月1日現在の人口8,483人でそれぞれ計算

### 歳入

歳入を見ると、自主財源では町税や分担金、財産収入などが減収となったほか、基金からの繰入金も抑制し、全体で9億931万5000円と、前年度当初比9348万6000円の減額となりました。

依存財源では、平泉中学校校舎改築事業などの大型建設事業に係る国庫支出金と町債が減額となっている一方、緊急雇用創出事業に伴う県支出金の増額や東日本大震災に対応した地方交付税の増額により、全体で31億4568万5000円と、前年度当初比1億6851万4000円の減額となりました。

### 一般会計歳入



### 歳出

歳出を目的別に見ると、民生費が9億2285万4000円と最も大きな割合を占めています。次いで、教育費が5億9097万9000円、公債費が5億6389万円、土木費4億5010万2000円、総務費4億4037万6000円、以下衛生費、農林水産業費、消防費と続きます。

性質別に見ると、投資的経費は道路改良事業、中学校体育館・柔剣道場耐震補強事業などの普通建設事業が4億3326万3000円、災害復旧事業が9500万円と、前

年度当初比2億9519万7000円の減額となっていますが、これは平泉中学校校舎改築事業が完了したことによるものです。

義務的経費については、公債費は5億6386万7000円と着実に減少しており、前年度当初比3936万5000円の減額となりました。人件費は給与改定により3574万7000円の減額、扶助費は子ども手当制度の改正などにより2796万2000円の減額となり、全体で19億3960万1000円と、前年度当初比で1億307万4000円の減額となりました。

### 一般会計歳出

